【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第４部門第１区分
【発行日】平成24年9月27日(2012.9.27)

【公開番号】特開2007-231728(P2007-231728A)
【公開日】平成19年9月13日(2007.9.13)
【年通号数】公開・登録公報2007-035
【出願番号】特願2007-41087(P2007-41087)
【国際特許分類】
Ｅ０５Ｂ　49/00　　(2006.01)
Ｂ６０Ｒ　25/00　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｅ０５Ｂ　49/00　　Ｊ
Ｂ６０Ｒ　25/00　　６０６
Ｂ６０Ｒ　25/00　　６０７

【誤訳訂正書】
【提出日】平成24年8月9日(2012.8.9)
【誤訳訂正１】
【訂正対象書類名】特許請求の範囲
【訂正対象項目名】全文
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
車両（１）のドアを施錠／解錠するためのハンズフリー方法であって、
ａ）　車載ユニットによりリクエスト信号（１０）と呼ばれる第１の無線周波信号を送信するステップ；
ｂ）　車両（１）に対して移動可能な識別装置により、リクエスト信号（１０）の受信に応答して、プレゼンス信号（２０）と呼ばれる第２の無線周波信号を送信するステップ；
ｃ）　前記のようなリクエスト信号（１０）が予想される期間内に受信されなければ、識別装置（２）により施錠信号（２１）と呼ばれる第３の無線周波信号を送信するステップを有する様式の方法において、
該方法はさらに、
ｄ）　識別装置（２）により受信された、リクエスト信号（１０）の周波数領域内の無線周波界Ｂの強度（１２）を前記識別装置（２）により少なくとも１回測定し；
ｅ）　予想されたリクエスト信号が受信されなかった場合、無線周波界Ｂの強度（１２）が閾値Ｓよりも大きい場合には、施錠信号（２１）の送信を阻止する、すなわち、ステップｃ）を完了させない、ことを特徴とする車両（１）のドアを施錠／解錠するためのハンズフリー方法。
【請求項２】
遅延時間δｔ中に予想されたリクエスト信号（１０ｘ）が識別装置（２）によって受信されなかった場合、遅延時間δｔの満了時に無線周波界を測定する、請求項１記載の方法。
【請求項３】
遅延時間δｔ中に予想されたリクエスト信号が識別装置（２）によって受信されなかった場合、遅延時間δｔの満了前に実行された無線周波界の強度の１回又は複数回の測定から、閾値Ｓと比較した無線周波界Ｂの強度（１２）を導出する、請求項１記載の方法。
【請求項４】
施錠信号（２１）の送信が阻止された場合、識別装置（２）がプレゼンス信号（２２）

を送信する、請求項１から３のいずれか１項記載の方法。
【請求項５】
施錠信号（２１）が阻止された場合に送信されるプレゼンス信号（２２）は、遅延時間δｔ中に予想されたリクエスト信号（１０ｘ）が受信されず、かつ、リクエスト信号の周波数領域内に異常に高い雑音レベルが存在している場合に送信されるものであるということを知らせる情報を自ら含んでいる、請求項４記載の方法。
【請求項６】
無線周波界Ｂの強度（１２）の閾値Ｓは車両（１）に搭載されたユニットにより送信される信号の内容に依存する、ただし、閾値Ｓはそれを超えると施錠信号（２１）の送信が阻止される値である、請求項１から５のいずれか１項記載の方法。
【請求項７】
車両（１）のドアを施錠／解錠するためのハンズフリー装置であって、
－リクエスト信号（１０）と呼ばれる周期的な無線周波信号を送信するのに適した車両（１）に搭載されたユニット；
－リクエスト信号を受信すること、リクエスト信号（１０）の受信に応答してプレゼンス信号（２０）と呼ばれる無線周波信号を送信すること、ならびに、リクエスト信号（１０）の受信が止まったときに施錠信号（２１）と呼ばれる少なくとも１つの無線周波信号を送信することに適した、車両に対して移動可能な少なくとも１つの識別装置（２）を有する形式のハンズフリー装置において、
該識別装置（２）は、
リクエスト信号の周波数領域内の無線周波界Ｂを測定する手段、
測定された無線周波界Ｂの強度（１２）を閾値Ｓと比較する手段、及び
予想されたリクエスト信号（１０）が受信されず、測定された無線周波界Ｂの前記強度が前記閾値Ｓよりも大きな場合に、施錠信号（２１）の送信を阻止する手段を有する、ことを特徴とする車両（１）のドアを施錠／解錠するためのハンズフリー装置。
【請求項８】
少なくとも１つの識別装置（２）が、以前の測定に基づいて所与の時点における無線周波界Ｂの強度を計算する手段を有している、請求項７記載の装置。